HIMAWARI Women & Men Information
女と男の情報紙

ひまわり

Vol.37
2024.3.1

特集

男女共同参画社会の実現に向けて
多様な性を知ろう
～誰もが生きやすい社会を目指して～





「葛和田で撮影」「陽なた」さんの作品

第18回 熊谷市男女共同参画推進表彰

昨年11月に開催した「第44回フォーラムくまがや2023」において、男女共同参画の推進に貢献する取組が評価され、次の3者が表彰されました。本表彰は、熊谷市男女共同参画推進条例に基づき、平成18年度から実施しており、男女共同参画社会の実現に向け、積極的に男女共同参画の推進に関する取組を実施している市民及び事業者を表彰するものです。(順不同)

社会福祉法人　育慈会

ことぶき乳児保育園
ことぶき花ノ木保育園
ことぶきイーサイト保育園
ことぶきつくし保育園

職員のライフスタイルの変化に応じ、柔軟な就業形態を取り入れることで、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進しています。

また、「埼玉県多様な働き方実践企業」認定制度のプラチナ認定を受け、育児・介護、ワーク・ライフ・バランス、キャリアアップのための制度を整えることで、長きにわたり自分に合った働き方を選び、活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。



西田クリニック

脳神経外科・ペインクリニック内科
内科・漢方内科・整形外科・外科

職員が気楽に意見を言える雰囲気づくり、職員のスキルアップのための資格の取得支援、勤務時間の弾力的取扱いなど、家庭生活と仕事の両立に向けた柔軟で働きやすい職場環境づくりを推進しています。

また、「埼玉県多様な働き方実践企業」認定制度のゴールド認定を受け、全ての職員が自分に合った働き方を選び、勤務することができる体制づくりを進めています。



綜合警備保障株式会社　埼玉北支社

職員の勤務形態の弾力的取扱い、再雇用制度、ノー残業デーの実施など、家庭生活と仕事の両立に向けた柔軟な働き方を推進することで、全ての職員が最大限の力を発揮し、安心して働き続けることができる環境を整備しています。

また、厚生労働大臣が認定する、女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定と次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定を受け、女性の活躍推進と子育てサポートの推進に取り組んでいます。



多様な性を知ろう

～誰もが生きやすい社会を目指して～

「性の多様性」、「LGBTQ+」といった言葉、メディアで目にしたり、聞いたりすることがあるのではないでしょうか。11月に開催した「フォーラムくまがや2023」でも、ちふれLGBTQ+アンバサダーの櫻木彩人さんをお招きし講演会を行いました。

「性別は男性と女性の2つだけではない」と認識している人は増えています。でも、複雑でよくわからないという方も多いでしょう。性は多様で複雑なのですから、それは当然のこと。新しい概念や言葉も次々と話題になります。性の違いで差別されることなく、誰もが尊重される社会の実現のために「多様な性」について知ることから始めてみませんか？

L Lesbian レズビアン 女性同性愛者

G Gay ゲイ 男性同性愛者

B Bisexual バイセクシュアル 両性愛者

T Transgender トランスジェンダー 心と体の性が異なる人

Q Queer クイア Questioning クエスチョニング

LGBTQ+とは

LGBTQ：性的マイノリティ（少数者）を表す総称の1つ。
＋はそれ以外にも多様な性があることを表す。



QはLGBTで定義できない性的指向や性自認、性が明確ではないなど

日本の人口に対してのLGBTQの割合は3%～10%。左利きの人、血液型AB型の人の割合が約10%、その割合に近い数値。

参照：令和2年度に埼玉県が調査した結果LGBTQなどの性的マイノリティの割合は3.3%。電通グループによる「LGBTQ＋調査2023」では9.7%

性のあり方を考える4つの要素

法律上の性別
生まれた時の身体的な特徴などから判断され、役所に届け出ることで法律上「男性/女性」に割り当てる性別

性自認
自分の性をどのように認識しているか

性的指向
自身の恋愛や性愛の感情がどの性別に向くかあるいは向かないか

性表現
社会的にどのように性別を表現するか、振舞うか（服装、一人称/ぼく、わたし等）

この4つの要素の組み合わせだけでも性が多様であることが想像できます。そして私たち一人一人まったく同じ性である訳ではないということに気づくことができます。

SOGI(ソジ)とは

上記の4つの要素のうち性的指向（Sexual Orientation）と、性自認（Gender Identity）の頭文字をとった「SOGI（ソジ）」という言葉が用いられることがあります。あなたの性は何でしょう。あなたはどんな人を好きになるでしょう。このことは誰にでも当てはまる概念です。LGBTQ+は性的マイノリティの総称の1つで特別な人たちと感じてしまう人もいるかもしれませんが、SOGIは誰もが多様な性のメンバーの一員なのだと認識させられる言葉です。

参考図書

熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」にて閲覧・貸出ししております。



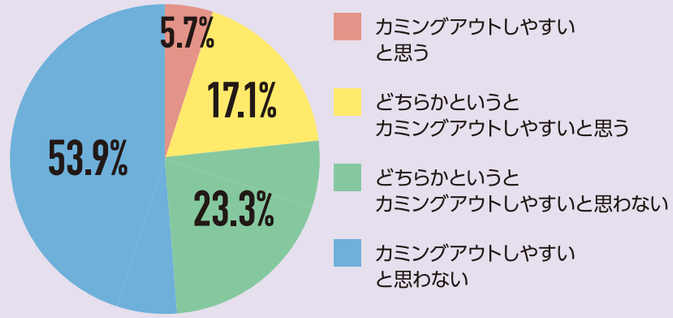
マンガでわかるLGBTQ+
著　者：パレットーク
漫　画：ケイカ
発行者：鈴木章一
発行所：株式会社 講談社



失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック
著　者：新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム
発行所：株式会社 小学館

カミングアウトとは…秘密にしていた自身のセクシュアリティを周囲に明かすこと

Q. 現在、あなたがいる環境は、周囲の人にLGBTQ+当事者であることをカミングアウトしやすいと感じますか。



(n=LGBTQ+層600)　出典：電通グループ「LGBTQ+調査2023」

左のグラフは、LGBTQ+層の当事者を調査対象としたアンケート結果です。カミングアウトという言葉は知られてきていますが、当事者はまだまだカミングアウトしにくい環境であると感じています。カミングアウトする、しないは本人が決めること。

カミングアウトしてくれたことは信頼の証でもあります。「大事な話を私に話してくれてありがとう」と受け止めてほしいです。

アウティングとは…本人の同意なしに第三者に暴露すること

本人の同意なしに誰かに暴露してしまう行為を「アウティング」といいます。アウティングは重大な人権侵害で絶対にやってはいけない行為です。実際にアウティングにより当事者が命を絶つ事件も起きました。カミングアウトを受けた際には誰にどこまで伝えてよいか本人に必ず確認しましょう。

多様な性を受け入れる社会、誰もが自分らしく生きられる社会

私たちには無意識の偏ったモノの見方があると言われています。また、社会の中でも、この偏った思い込みにより人の性別を二分化し、さまざまな偏見や差別、不合理なルールを生み出してきました。現在も「男らしさ」や「女らしさ」「こうあるべき」などの枠組みの中に家庭や仕事、個人を当てはめ、それが生きづらさにつながっています。

「誰もが生きやすい社会」とは、この「〇〇であるべき」にとらわれずに、一人一人がその人らしく生きていけることができる社会です。そのために、まずは知識を得て、自分たちの無意識な思い込みや偏見を知ることが大切です。例えば「早く彼女(彼氏)をみつけて結婚したら？」などという何気ない言葉が身近な誰かを傷つけているかもしれません。

私たちが自分を振り返り、この言葉に注意するだけでも、生きづらさや困難を軽減し、幅広く多様な人々を尊重し認め合う社会へと変化をもたらすでしょう。

参　考

熊谷市 人権政策課
知っていますか？
性の多様性について

埼玉県 県民生活部
人権・男女共同参画課

輝いてます！

街で出会ったいきいきさんをご紹介します

「この街で生きる『好き』を仕事にした女性たち」



この街woman
代表　羽賀 登喜子さん

花を抱えた女性が表紙の、素敵な冊子を手にした事はありませんか？昨春、市内の施設や店舗などに設置、無料で配布され評判になりました。（ｖｏｌ・２は昨年11月に発行）企画・編集・発行した「この街ｗｏｍａｎ」のメンバー代表を勤めるのは羽賀登喜子さん。自分自身が生まれ育った大好きな熊谷で、仕事に家事に育児に頑張る女性を応援したい！コロナ禍で離れてしまった人と人とをつなげたい！と、このプロジェクトがスタート。熊谷で起業したり、お店を構えたり、生き生きと活躍する女性たちの笑顔と言葉が詰まった冊子が出来上がりました。出版に当たり、市の助成金と商工会議所の補助金を受けることができました。声をかけて集まったのは、個性あふれるメンバー６人。各々の得意な分野とセンス・技能を活かしての冊子作りとなりました。掲載する女性の選定は、メンバーの人脈や紹介で集め、紹介文はできるだけ本人の言葉を掲載しました。「掲載された事で今までの方向性や自分自身を再認識できた」「仕事の自信にもつながり、自分のお店を知ってもらえた」「また仕事がんばろう、と思えた」と、掲載された方からの声が。また、読者からは「起業を悩んでいたが、私にもできるかも！とチャレンジすることができた」と、うれしい反響もあり、なんとこの方はｖｏｌ・２に掲載されました。羽賀さんたちが感じたことは、「誰かの背中を押している」ということです。この取り組みを通じて「熊谷で仕事をし、生活をする」たくさんの女性たちを応援したい、と考えています。羽賀さん始め、この街ｗｏｍａｎの皆さんは熊谷を盛り上げるべく新たな企画を考え中とのこと。これからも熊谷の元気な女性たちから目を離せそうにありません。※冊子は市内店舗、図書館で閲覧できます。





運営委員のメンバー

Instagramアカウント
→@konomachi_kumagaya_woman

ひとりで悩んでいるあなた、一度相談してみませんか？

配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力(DV)に悩んでいる方、自分が我慢すればと思わずに、相談してください。どんな小さなことでも、相談員がお聴きし、一緒に考えます。電話相談は匿名でもお受けしていますので、まずはお電話ください。

詳しくはこちら

◆ハートピア相談室　☎048-599-0015

相談名	相談日	時間
電話相談・面接相談（予約不要）	月～金曜日、第1・第3土曜日（祝日、年末年始を除く）	9:00～17:15
弁護士による相談（要予約）	隔月1回（偶数月）	10:00～11:30
臨床心理士による相談（要予約）	毎月1回　第4金曜日（祝日の場合は変更）	9:00～16:00
保健師による相談（要予約）	毎月2回　第2・第3水曜日（祝日を除く）	13:30～15:30

（各相談とも、無料・秘密厳守）



「優しいひまわり」
新島　こころさん（原島）の作品

編集後記

「フォーラムくまがや」には、たくさんの市民の方々が参加されていました。ちふれＬＧＢＴＱ＋アンバサダー櫻木彩人さんの講演を、メモを取り、うなずきながら聞いている方が多かったのが印象的でした。知らなかったことを自分たちのこととして捉える機会になったと思います。

２０２０年６月に施行された「改正労働施策総合推進法」では、ＳＯＧＩハラスメントやアウティングもパワーハラスメントとなり、防止策を講じることが事業主の責務とされました。

生き方や考え方は人それぞれであり、自分の何気ない言動がハラスメントにつながるかもしれないと気づくことが大切です。すぐに全てを理解ができなくても、相手を尊重することは可能です。男女共同参画社会の実現とは、まずはその課題を私たち一人一人が知って理解し、地域や社会で少しずつでも取り組み続けることが、遠回りのようで近道ではないかと考えます。

この広報紙「ひまわり」が皆さまにとって「多様な性について」考えるきっかけになりましたら幸いです。（吉田知重子）

〈編集員〉
秋元　留美子　井上　紀子　奥富　康雅
坂東　輝美　吉田　知重子

◆◆◆募　集◆◆◆

★表紙やカットとして掲載する「ひまわり」の絵・写真・その他の作品を募集します。
★「輝いてます！」（市内で活躍されている方の紹介）のコーナーに登場してくださる方を募集しています（自薦・他薦は、問いません）。
※両募集とも、応募多数等により掲載にならない場合がありますが、ご了承ください。
★本紙へのご意見、ご感想をお寄せください。

【応募・問い合わせ】
〒360-0037
熊谷市筑波三丁目202番地 ティアラ21（4階）
熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
・TEL　048(599)0011
・FAX　048(599)0012

■発行日　令和6年3月1日（年2回発行）　■発行　熊谷市　■編集　男女共同参画室（ハートピア内）・「ひまわり」編集員会
「ひまわり」Vol.37は、71,500部作成し、印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり7円です。

PRINTED WITH SOY INK
環境にやさしい大豆油インキ